

音楽科 授業改善推進プラン

学年	児童の実態
第1学年	○楽しく活動に取り組んでいる。器楽の技能には個人差があるため、段階を踏んだ指導をしていく必要がある。
第2学年	○表現したり、聴いたりする活動を楽しみ、意欲的に活動に取り組んでいる。 ○感じとったことや自分の思いを身体や音楽、言葉で表現しようとしている。

☆今年度の教科の重点

- 歌唱、器楽、つくる活動、鑑賞など、様々な音楽活動に興味をもって、楽しく取り組む姿勢や態度を育てる。
- 表現や鑑賞の活動を通し、音楽の諸要素や仕組みを十分に感じ取り、表現につなげられる基礎的な能力を育てる。

☆授業改善の具体例

〈1年生〉

- ・簡単なリズム遊びやわらべうたなどを歌う習慣を付ける。
- ・鍵盤ハーモニカの指導では苦手意識をもつことのないように、合わせる活動を多く設定する。
- ・ペア学習やグループ学習を取り入れ、合わせる楽しさを味わわせる。

〈2年生〉

- ・グループ活動やペア学習を通して、友達と教え合ったり、友達の良さを見つけたりすることで互いに高め合い、意欲が高まるようにする。
- ・簡単なリズム遊びや体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら基礎的な能力が身に付くように活動を工夫する。
- ・言葉で伝えることが苦手な児童には、友達と話し合ったり、言葉のヒントを提示したりしながら語彙を増やしていく。

☆評価・改善

〈1年生〉

- ・教師や友達のまねをしながら曲に合わせてリズム遊びを楽しく行うことができた。
- ・鍵盤ハーモニカは、後半難しい曲を扱ったため、苦手意識を取り除くことができなかった。
- ・少しずつ発声に気を付けながら歌えるようになってきた。

〈2年生〉

- ・歌唱では自信をもって声を出すことができる児童が増えた。
- ・鑑賞では曲想の変化を感じ取り、自分の言葉で表現したり、体の動きで表現したりする活動に楽しく取り組むことができた。自分の言葉で表現することが難しい児童には、グループでの活動などを取り入れ、少しずつ自分の言葉で書けるように指導を工夫していく。

音楽科 授業改善推進プラン

学年	児童の実態
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いをもって表現したり、音楽のしくみや雰囲気を感じて聴いたりする活動を楽しみ、意欲的に取り組んでいる。 ○曲想を感じとって聴いたり、思いをもって演奏したりすることができる。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや意図を表現に生かしたり、曲想と音楽のしくみのかかわりに気付いて聴いたりする活動に意欲的に取り組んでいる。 ○歌詞の内容や強弱、速さなどの音楽のしくみや曲想を感じ取って聴いたり、自分なりに演奏を工夫したりすることができる。

☆今年度の教科の重点

- 関わり合って学ぶ中で、自分と友達の違いや思いの違いや共通点に気づき、互いに高めあいながら学習を深めていく。
- 表現や鑑賞の活動を通して、音楽の諸要素や仕組みを言葉などで表せるようにし、表現につなげられる基礎的な能力を伸ばす。

☆授業改善の具体例

〈3年生〉

- ・歌唱の活動では音を聴くこと、友達と声を合わせることで、自然な発声で声を出すことができるように選曲や毎時間の活動を工夫する。
- ・リコーダーでは、簡単な音楽遊びや、即興的な音楽づくりなどを通して、音色やリズムに気を付けて演奏できるように活動を工夫する。
- ・鑑賞学習では、さまざまな表現活動と関連させて学習し、自分の思いを言葉で伝えられるようにする。

〈4年生〉

- ・歌唱の活動では、互いの音を聴きあって無理なく合唱できるように、選曲や毎時間の活動を工夫する。
- ・器楽の活動では、グループ学習やペア学習などで互いに高め合える活動を工夫する。
- ・多様な音楽の魅力に気付くことができるよう、日本の音楽や世界の民族音楽など、表現活動と関連させて学習するようにする。

☆評価・改善

〈3年生〉

- ・音楽遊びでは拍の流れを感じて楽しくリズム遊びができた。
- ・歌唱の活動では、曲の雰囲気を感じて伸び伸びと歌うことができた。
- ・リコーダーは頑張りカードを使い、細かく指導を積み重ねることにより、大きな個人差なく取り組むことができた。
- ・鑑賞では自分の言葉で表現することが苦手な児童もいるが、他の児童の発言をクラスで共有することで、語彙を増やしていく。

〈4年生〉

- ・歌唱の活動では、声の出し方に気を付けて、のびやかに歌うことができた。
- ・鑑賞では聞き取ったことや感じ取ったことを関連させ、自分の言葉で表現できる児童が増えた。

音楽科 授業改善推進プラン

学年	児童の実態
第5学年	<p>○学習したことを生かして自分の思いや意図をもって表現したり、曲想と音楽のしくみのかかわりに気付いて聴いたりする活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○音の重なりなどの音楽のしくみや曲想を感じ取って聴いたり、音楽のしくみに気を付けて演奏を工夫したりすることができる。</p> <p>○多様な音楽のしくみに気付いたり、よさを味わって聴いたりすることができる。</p>
第6学年	<p>○学習したことを生かして自分の思いや意図をもって表現したり、曲想と音楽のしくみのかかわりに気付いて聴いたりする活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○音の重なりなどの音楽のしくみや曲想を理解して聴いたり、音楽のしくみを生かして演奏を工夫したりすることができる。</p> <p>○多様な音楽のしくみを理解し、よさを味わって聴いたりすることができる。</p>

☆今年度の教科の重点

- 関わり合って学ぶ中で、自分と友達の間接方や思いの違いや共通点を生かし、互いに高め合いながら学習を深めていく。
- 表現や鑑賞の活動を通して、音楽の諸要素や仕組みを理解しよさを伝えられるようにし、学習した技能を生かして表現につなげられるようにする。

☆授業改善の具体例

〈5年生〉

- ・表現活動では、自分の思いをもち、表現につなげられるように、基礎的な技能を高めていく。
- ・歌唱の活動では自分たちの思いをもちやすく、音の重なりを無理なく感じ取ることができる選曲を工夫する。
- ・多様な音楽の魅力に気付き、自分たちの表現に生かしたり、友達と伝え合ったりできるようにする。

〈6年生〉

- ・表現活動では、基礎的な技能を高め、自分たちの思いを表現に生かして合唱したり、合奏したりすることができるよう、題材の構成を工夫する。
- ・多様な音楽の魅力に気付き、自分たちの表現に生かしたり、友達と伝え合ったりできるようにする。

☆評価・改善

〈5年生〉

- ・歌唱の活動では、自信をもって声を出し、意欲的に授業に取り組むことができ、音の重なりを感じて歌うことができた。
- ・鑑賞の活動では音色や強弱、速さなどに気を付けて、自分の言葉で感じ取ったことを伝えることができた。
- ・器楽の活動では個人差がみられるため、グループでの活動など指導を工夫していく必要がある。

〈6年生〉

- ・音楽づくりや器楽の活動などグループで活動する中で、互いに学びを深めることができた。
- ・鑑賞と表現を関連させながら活動し、表現の工夫について学習を深めることができた。